



## ～より一層の改善と発展を目指して～ 「NGO of the Year」受賞のご報告



最優秀賞を受賞したEDFの代表取締役のサンベツ(右手から3番目)、プロジェクト部長のチャルワット(最左)と財務・事務部長のパワナー(左手から2番目)

今年9月、米国のロックフェラー財団、タイの非営利団体のKenan Asia Institute 及び英国のファンドレイジング協会のThe Resource Alliance の協力により開催された“Thailand NGO Awards 2012”というイベントでEDFは“NGO of the Year”という大型非営利団体カテゴリーの最優秀賞を受賞しました。このような受賞の栄誉に浴することが出来たのは支援者の皆様をはじめ、奨学金担当先生方、教育委員会及びボランティアの方々からのご協力により、素晴らしいネットワークができています。EDFはこの場を借りて深く感謝を申し上げます。

私共EDFは、今回の受賞を喜ぶのではなく、より大きな期待と今後への課題を与えられたもの理解しています。子どもたちの人生にさらに良い変化をもたらすために、社会貢献活動に必要とされる様々なプログラムの運営管理能力の向上、当財団の一層の人材開発、ボランティアのネットワークの拡大と支援者に対するサービスの向上を、目

標として今後とも皆様のご支援をいただきながら頑張っていきたいと思っております。

尚、この機会に来年2013年度の中学1年となる学生が決まるまでのスケジュールをお知らせします。

- ・2012年10月～2013年3月:2013年5月に中学1年生になる小学生の奨学金の募金期間
- ・2012年11月:奨学金制度の内容とその運用について各学校のダルニー奨学金担当先生の会議が行われます。
- ・2012年12月～2013年1月:教育委員会を通して各学校で奨学生候補を選定し、その結果がEDF事務局に届けられます。



受賞した他の団体との集合写真

以前お知らせしましたが、2013年の奨学金達成目標は7,000口です。ドナーの皆様をはじめ様々な形で協力を戴いている皆様方に引き続き暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

**Thailand NGO Awards 2012で大型非営利団体カテゴリーで優賞した財団リスト**  
最優秀賞:The Education for Development Foundation(EDF)  
第2位:CCF Foundation in Thailand Under the Royal Patronage of HRH Princess Maha Chakri Sirindhorn  
第3位:Habitat for Humanity (Thailand) ハビタットフォーヒューマニティ(タイランド)  
特別賞:Action on Smoking and Health Foundation Thailand

### EDFもっと身近にする方法



**EDFウェブサイト [www.edfthai.org/jp](http://www.edfthai.org/jp)**  
今EDFウェブサイトではよくニュースや奨学生についてのストーリーを載せています。またオンラインで簡単で安全にご寄付いただけます。



Facebookをご利用している方は「EDF Thailand」という名で検索していただければ EDFのファンページとして登録されたページが見つかり、「いいね」をクリックすると、自動的にこちらからのアップデートのニュースや自動的に皆様のアカウントに流されます。現在、タイ語と英語対訳をアップしています。



支援者から奨学金とプレゼントをもらった奨学生の気持ち

## 「これまでこんなに嬉しいことはなかった!」

学校の先生と連名で発行した奨学金を銀行口座に振り込んだ後で、以下の2件の礼状がEDF事務局に寄せられました。奨学金を受け取った奨学生の喜びの気持ちを皆様にお伝えします。



### チャルワン・トライチャックさん(通称チャチャー)中1(女) ナコンパノム県シーポントンウィッタヤ校

チャチャーはお母さんと双子の弟と3人で暮らしています。お父さんが数年前に亡くなった時から、お母さんは家族のために池で魚を取ったり、家の周りに生えている自然な野菜を摘み取ったりして、それを食べたり売ったりして生活を送っています。最近の仕事は、住んでいる地域で盛んなパラゴムの木の畑を片付ける仕事をしています。

「いただいた奨学金は、スポーツウェアとスポーツの靴を買うのに使いました。かなり古いものを使っていたのですが、新しいのを購入できて学校に通うのはとてもわくわくしました。私と弟は運動することが大好きです。いただいたスポーツ用具で、弟や近所の子どもたちと一緒にスポーツを楽しみたいです。どうもありがとうございます。」



### ワニッサラー・セーンサムランさん(通称プレー)中1(女) カラシン県ノンウェンヌア校

プレーはスポーツをすることが大好きです。特に好きなスポーツは、男の子の好きなタクロー(藤球)です。学校の代表で県の試合に出たことがあります。

プレーは祖父母、叔母さんともう2人の年下の兄弟と暮らしています。お父さんとお母さんは離婚してから故郷に戻らず、あまり会いません。家族総出で池で魚採りをし、売れた分は家族の収入にします。プレーは土日に畑や水田の中に生えている草を刈り取る仕事をしています。毎週このような仕事があるわけではないのですが、少しでも家庭の収入を上げるのを手伝って良かったと言いました。

「奨学金がもらえると知った時にはとても嬉しかったです。奨学金の一部はスポーツの授業に必要なとされるスポーツの靴を買うのに使いました。それから、これまでもらったことのない、素敵な文房具のプレゼントも受け取り、本当に支援者に感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。」

## ニュース・イベント



### 7年目のタイブリヂストン自転車ラリープロジェクト "Rides the Future"

2012年9月3~4日、タイブリヂストン株式会社は、ナコンラチャシマー県ダクントット郡バンブレン学校とロイエット県パノム・ブライ郡パノム・ブライ学校にて、2012年度の「7年目タイブリヂストン自転車ラリープロジェクト "Rides the Future"の奨学金及び貸し自転車贈呈式」を開催しました。今年度、ナコンラチャシマー県とロイエット県の2県に対して併せて20校、200人の中学生をご支援いただきました。

その日、奨学生たちは翌年後輩に貸し自転車を譲るため、講師と交通警察により自転車の安全な運転方法とメンテナンスの講習を受けました。



### 名古屋大学生がEDFを訪問

2012年9月13日、名古屋大学教育学部4年生3人の学生がEDF事務局を訪問しました。3人は最近のタイにおける教育状況に関する卒業論文作成のため、ダルニー奨学金制度と農業分野プロジェクト『一校一品プロジェクト』(One School One Project - OSOP)の事業についての講義を受けました。



### 卒業祝い花束の代わりに奨学金を

2012年9月7日、タマサート大学の第24期MIMプログラム(Master Degree Program in Marketing)の学生たちは、400,000バーツの奨学金を提供しました。MIMプログラムの学生たちは開催した「Pay It Forward Charity」活動で同大学を卒業した先輩や後輩及び家族や友人に対し、卒業式のお祝いの花束の代わりに奨学金を寄付するように募って、集められた寄付金をダルニー奨学金制度にご寄付していただきました。



The Education for Development Foundation  
มูลนิธิเพื่อการพัฒนาสังคม

The Education for Development Foundation (EDF)  
50, Kasetsart University Alumni Bldg., Phaholyothin Rd., Ladyao,  
Jatujak, Bangkok 10900  
Tel. 0-2579-9209-11 (タイ語) 0-2942-8538 (日本語) Fax. 0-2940-5266  
Email: public@edfthai.org URL: www.edfthai.org/jp

日本でのお問い合わせ：一般財団法人 民際センター  
〒162-0081 新宿区山吹町337 江戸川橋東誠ビル5F  
TEL: 03-6457-5782 FAX: 03-6457-5783  
Email: info@minsai.org URL: www.minsai.org